

主は私に言われた。「これらの骨に預言せよ。『干からびた骨よ、主のことばを聞け。神である主はこれらの骨にこう言う。見よ。わたしがおまえたちに息を吹き入れるので、おまえたちは生き返る。』」

エゼキエル書 37章4、5節

この箇所は、国家の滅亡とバビロン捕囚で再起不能と思える状態にあったイスラエルが、主によって回復されることを示しています。この約束は、イスラエル人にとって希望ですが、今、キリスト者として主に結びつけられた私たちにとっても勇気を与えてくれます。

コロナ禍にあつて教会は大きなダメージを受けています。昨年の春以来、自由に交わりや集まりができない状況が続ぎ、もうすぐ1年が経とうとしています。先週からは礼拝に集まることを再び大きく制限してい

ます。非常に心が痛みます。コロナは私たちの肉体の命を脅かすものですが、霊的な戦いであることも覚えます。インターネットで礼拝映像を配信できるのは大きな助けですが、それだけで私たちの霊の渴きを十分に満たすものではありません。

エゼキエルはおびただしい数の干からびた骨の前に、「これらの骨は生き返ることが出来るだろうか」と主に問われます。人間の力で考えれば、それは不可能な状況です。しかしエゼキエルは主に目を向けました。「私は答えた。『神、主よ、あなたがよくこ

存じです』。これはエゼキエルの信仰の表明です。神に不可能はない、という信頼と、それを実現するかどうかは主の御心一つである、主への信頼と明け渡し姿勢です。信仰を表明したエゼキエルは、主が骨を生き返らせるといふ回復の御業を目の当たりにしたのです。

主はみことばによって御業を現されました。主のみことばが人を生かし、生きる力を与えます。私たちも困難な状況にあります。が、いのちの与え主であり、救い主である主に信頼しましょう。勇氣と希望を与えるみことばに触れ続けましょう。主のみことばが私たちにいのちをもたらし、困難に打ち勝つ力を与え、主にある回復を体験させてくれるのです。(泰)

・ 厳しい寒さが続きます。コロナへの感染予防はもちろんですが、その他の病気に罹らないように自分とお互いのために祈りましょう。

・ 高齢の方、お体の弱さを覚える方にとっては厳しい季節です。支えられるようにお祈りしましょう。

教会、牧師宛に消息をお知らせくださり感謝です。覚えて祈っています。

このような時期です。気になる方への連絡一本をお願い致します。

・ 受験生のためにお祈りください。大学受験、高校受験、中学受験をするメンバーがいます。心と体が守られてベストを尽くせますように。

・ 教団カレンダー

2021年カレンダーが配布されていますが、元旦以降来会できない方もいて教会に多数あります。

ご希望の方には、教会に取りに来ていただくか、郵送での送付も承ります。

郵送を希望の方には、四つ折りです。しければ週報と一緒に送ります。丸めた状態での郵送を希望される方はその旨お知らせいただければ手配致します。

・ 「教団臨時総会」「教団理事会」

本日午後、インターネットで行われます。臨時総会には信徒代議員4名（加藤兄、豊田兄、金川兄、山口光兄）と教職代議員3名（石田牧、いっ子牧、荻野牧）が出席。2021年度の人事発表が行われます（次週、週報にて公示があります）。教団理事会には、石田牧と豊田兄が出席します。

出席者のため、またシオン全体の祝福のために祈りください。